

くみあいニュース

山口大学教職員組合（2019年1月11日）

第193号（2018年度-第1号）／電話：083-933-5034・メール：fuy-union@ma4.seikyou.ne.jp

第52回定期大会開催される(2018/12/22)

～福田新委員長・滝野新書記長のもと、新たなとくみへ踏み出す～

山口大学教職員組合は2018年12月22日（土）午後、吉田キャンパス学生会館会議室にて第52回定期大会（2018年度定期大会）を開催しました。大会には、福田修新執行委員長をはじめ新執行委員9名と各分会代議員、鴨崎義春前執行委員長等が出席しました。

初めに鴨崎前委員長から2016年10月以降2年間の活動が報告され、続いて三原前書記次長から2016年度会計及び2017年度会計の決算報告、笠野会計監査委員代理から両年度の監査報告があり、質疑応答の上、承認されました。

その後、新執行部より、第1号議案（運動方針）から第6号議案までの議案提案が行われました。

質疑・討論ではさまざまな課題についての議論がなされましたが、特にパワーハラスメント問題については、それぞれの立場からの率直な意見、要望等が挙がり、貴重な意見交換の場となりました。その後、賛成多数ですべての議案が承認されました。なお、運営費交付金の評価配分枠大幅拡大の動きに反対する特別決議を行いたいとの提案についても全員の賛成で承認されました。今後は、福田新委員長を始めとする新体制のもと、組合としてのとくみを進めていくこととなります。



執行委員長就任ご挨拶(福田修・教育学部分会)



12月22日の定期大会で執行委員長に就任いたしました教育学部分会の福田です。よろしくお願い申し上げます。組合執行委員の改選は、ほぼ2年ぶりとなりました。新執行委員会の発足にこぎつけるまでには、組合員の皆様方へいろいろのご苦勞をいただきました。組合役員や活動のあり方などについての意見を積極的にいただき、旧執行委員会・四役、分会長会議などで議論を重ね、最終的に昨年3月の分会長会議で最終的な合意が形成され、その後の選挙管理委員会のもとで、私たちが候補者として推薦を受けた上で信任をいただきました。ご意見をいただいた皆様、選挙まで真摯な議論を重ねていただいた分会代表者の皆様、旧執行委員の皆様、選挙管理委員会の皆様、そして、すべての組合員の皆様方に厚く感謝申し上げます。一昨年7月の選挙管理委員会発足以来、ほぼ1年余りの難産の末の新執行委員会の誕生ということで、私たち、期待の重さにたじろぐものがあるところです。

しかしながら、私たち組合のなすべき仕事を考えてみますと、たじろいでばかりはいられません。この間のくみあいニュースでお知らせしているように、大学院担当手当のカットの問題で目下団体交渉が継続中です。また、12月20日の政府の会議で、国立大学の運営費交付金総額の1割にあたる一千億円を成果主義による配分とする方針が決定されました。これまで、成果主義、評価による配分は百億円であったものが、一気に一千億まで拡大され、3年後の2022年度以降は運営費交付金全体に及ぼすともいわれ、国際競争力強化のため、首相は、大学改革を本格的に実行する段階に来たと述べているようです。

これから、新たな年俸制の導入・全面適用などの人事給与マネジメント改革など、大学当局と団体交渉をするべき事柄が次々と起きることが予想されますし、政府の大学改革に対抗するために、学長や役員会などの名前で抗議声明を出すことを申し入れるためのとくみ、他の労働組合・団体などとの連携した取り組みなども必要になってくるかもしれません。取り組まなければならない課題は嵐のように襲って来そうです。するべきことの大きさに比べ、私、新執行委員長の力量は心もとないところがあるのですが、すべての組合員の皆様方と私たち執行委員会とで打って一丸となって、大学を守り、教職員の労働条件、生活を守ることに取組んでいきたいと思っておりますので、重ねてよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年 本年もよろしくお願い致します
2018年度執行委員一同



大学院手当支給基準改定問題緊急報告・討論集会のご案内

大学院手当等支給基準改定について、山口大学教職員組合のとりくみによって、大学が予定していた「平成31年1月1日付け規則改正」が「先延ばし」されたことは、くみあいニュース第191号（12月18日発行）でお知らせしたところです。



12月17日付けの岡正朗学長名回答で「協議・交渉を継続」「協議の継続にあたり、教職員組合からの提案がございましたら、お示しいただきますようお願い致します」とされていることから、今後、第2回団体交渉を軸に組合としてのとりくみを強めることが必要となっています。

このため、1月17日に「大学院手当問題緊急報告・討論集会」を開催することとしましたので、取り急ぎお知らせします。組合員はもとより、まだ組合に加入されていない方々も、この集会に是非ご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2019年1月17日（木）12時～13時
会場：経済学部 第1会議室（2階）

大学院講義等担当者の方々などからのご意見 改正案の問題を突く声いきり…

予算が厳しいから仕方ない
と思っていましたが、三千万
円も浮かすのはおかしいで
すよね

理系の方でも手当
減る方いるとは知
りませんでした！

学部長の話だけでは
分かりません。これ
だけのことをやるな
ら学長が直接説明す
べきです。

退任のごあいさつ 鴨崎義春(前執行委員長)

12月22日に開催されました第52回定期大会を以って山口大学教職員組合執行委員長を退任いたしました。2006年度から十数年間に亘って執行委員長を務めさせていただき、山口大学の教職員のみなさまの生活と権利を守り、よりよい山口大学をつくるために、また、組合員・教職員お一人お一人の思いに寄り添った対応等、組合に求められている様々な課題について、現役時代の7年間、また、当組合の専従者としての5年9ヵ月、その時々の方々の自らの力量と条件に応じて少なくとも主観的には、執行委員長としての仕事を精一杯行わせていただきました。

特にこの1年間は、私にとっても山口大学教職員組合にとっても多くの困難があり、組合員の皆さまのご期待に沿えない場面も多々あったと思いますが、昨年9月には新しい執行委員の方々も確定し、その後は適宜連携をとりながら活動を進めた結果、失効年休積立制度創設・人事院勧告どおりの給与及び一時金引上げ・大学院手当等支給基準改定の交渉継続確認の他、様々な課題で「成果」を得ることができました。

幸いなことに、新執行部はこれまでにない新しい顔ぶれで、これからの山口大学教職員組合の新たな未来へとつながる可能性を持った陣容となっております。

なお、定期大会の場で特別執行委員に選出いただきましたので、立場は変わりますが、教職員組合運動の基本を忘れずに、これまでの経験を活かしながら引き続き努力し、少しでも皆さま方のお役に立てればと考えていることをお伝えして、執行委員長退任のご挨拶とさせていただきます。

